



ごんごバスにゆられて



大正ロマンの漂う木造洋館

～作州民芸館(旧土居銀行本店)～(西今町)



バス停から南に約250メートル歩き、坪井町から旧出雲街道を西に約400メートル行くと、ひとときわ背の高い洋館が見えます。それが「作州民芸館」です。この建物は、大正9年に土居銀行本店として、津山駅(現在の津山口駅)に近く、当時最も栄えていたこの地に建築されました。特徴は、正面両翼を少し張り出させ、左右対称のところ、文化庁の登録有形文化財に指定されています。ル

ネサンス調の飾りなど、仕上げやデザインから石造を思わせますが、実は木造です。内部には銀行のカウンターなどを残し、当時の雰囲気を感じられます。平成5年に市が取得し、城西地区が手仕事を中心とした「生業」の町として栄えたことなどから「作州民芸館」と名付け、民芸品や玩具などの伝統工芸品、地域の歴史資料を展示しています。また、津山まつりに出動するだんじりの情報を

検索・表示できる端末機も設置されました。毎年恒例の「津山・城西まると博物館フェア」(10月5日(日)午前10時～午後4時)は、地域住民の手作りのイベントで、手仕事で栄えた大正時代のにぎわいを再現します。この日、作州民芸館はミルクホール(昔の喫茶店)に変わります。大正ロマンを感じに、ぜひお立ち寄りください。お問い合わせ先 都市計画課 32・2096

つやま 広報 9月号

平成20年 2008 647号

●特集

図書館 3
～その一冊から、世界が広がる～

○市政だより 6

さん・さん祭り2008
台風対策は万全ですか?
つやま・エコ・システム5周年キャンペーン
ほか

【まちかど写真館】..... 12
津山の夏祭り ほか
【ごんごクラブ】..... 14
未来をひっぱる津山人
わたしのおすすめ
【けいじばん】..... 17
【くらし】..... 22
【洋学博覧漫筆】..... 24
～津山で行われた「開臓」～